



今

改算記序

史世<sup>その</sup>より<sup>せう</sup>何<sup>なん</sup>塵却<sup>ちん</sup>記<sup>き</sup>より<sup>より</sup>算書<sup>さん</sup>と<sup>と</sup>なる<sup>なる</sup>ふ事<sup>こと</sup>ふ  
らう<sup>らう</sup>く<sup>く</sup>て<sup>て</sup>相違<sup>さう</sup>の<sup>の</sup>なり<sup>なり</sup>一<sup>一</sup>そ<sup>そ</sup>後<sup>のち</sup>龜井<sup>き</sup>法<sup>ほう</sup>算<sup>さん</sup>  
冬<sup>ふゆ</sup>も<sup>も</sup>算<sup>さん</sup>等<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>然<sup>しか</sup>書<sup>き</sup>を<sup>を</sup>より<sup>より</sup>ち<sup>ち</sup>り<sup>り</sup>む<sup>む</sup>め<sup>め</sup>律<sup>りつ</sup>は<sup>は</sup>録<sup>ろく</sup>  
と<sup>と</sup>是<sup>こゝ</sup>も<sup>も</sup>先<sup>まづ</sup>書<sup>き</sup>め<sup>め</sup>す<sup>す</sup>が<sup>が</sup>く<sup>く</sup>あ<sup>あ</sup>や<sup>や</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>は<sup>は</sup>る<sup>る</sup>の<sup>の</sup>め<sup>め</sup>即<sup>すなは</sup>  
ち<sup>ち</sup>却<sup>かえ</sup>記<sup>き</sup>より<sup>より</sup>十二<sup>じふに</sup>條<sup>じょう</sup>冬<sup>ふゆ</sup>も<sup>も</sup>算<sup>さん</sup>等<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>八<sup>はち</sup>條<sup>じょう</sup>は<sup>は</sup>圖<sup>ず</sup>と<sup>と</sup>の<sup>の</sup>なる<sup>なる</sup>  
と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>も<sup>も</sup>刻<sup>き</sup>積<sup>せき</sup>は<sup>は</sup>ある<sup>ある</sup>所<sup>ところ</sup>ど<sup>ど</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>お<sup>お</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>せ<sup>せ</sup>る<sup>る</sup>意<sup>い</sup>  
あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>世<sup>よ</sup>乃<sup>の</sup>人<sup>ひと</sup>より<sup>より</sup>工<sup>くわう</sup>夫<sup>ふ</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>も<sup>も</sup>や<sup>や</sup>作<sup>さく</sup>志<sup>し</sup>する<sup>する</sup>  
ふ<sup>ふ</sup>の<sup>の</sup>算<sup>さん</sup>等<sup>ら</sup>と<sup>と</sup>なる<sup>なる</sup>れ<sup>れ</sup>ん<sup>ん</sup>は<sup>は</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>べ<sup>べ</sup>く<sup>く</sup>れ<sup>れ</sup>ど

算書

改算上



初創の人を以てありて其のいふた如くしあるを  
 うん人へまうし金に事とてそんぶ故に今在る遠  
 國と云ふに彼等とあしくいひ改竄記と云ふを  
 傳ふす分の内より系毫の末代より家と云ふて  
 子孫れ亦ともあるに世道乃理ひて況眼が明にれ  
 るふれぬてとや又理をくゑとていふ法と  
 あられ其法ふとある人といはれしは乃の妙なり  
 と云ふまゝなりとて

改竄記綱目上目録

某田理右衛門行門中

持永十三年春豊次

大徳又を尋常書 改撰

才一九九之記

才二八算之記

同位見事

同商実方正術

付り急井割註

才三見一之記

同位見根

改竄記上目録

一 九九

二 八算圖 付り急井割

三 見一圖 并九九算

付りいろは割



日高実方正術  
 頭撰算改術  
 檢地定法之記  
 田畑名  
 日増註  
 檢地歩極  
 斗代盛注  
 知方方名経  
 毛見之評判  
 廿六

四	五	六	七	八	九	十
檢地付り斗代	知方方名	毛見之次第	就之倭入積り	枚形之注	朱賣賞并倭廻	銭賣賞

廿七  
 并増併編集  
 數原  
 大數  
 尺の記  
 秤之記  
 秤之記  
 九章名義  
 算本立  
 明正負  
 明因案

十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
薪の賣賞	枝木賣賞	結布賣賞	唐賣賞	日積り	金銀両替	借報利息

算書  
 文庫上  
 三







三才

まハ八算見一たよ  
 うけえんとそきき  
 八算ハ 九算也  
 一算ハ除むるす  
 算ハ八算より八算云  
 一算ハ除むるす  
 二万分れ投と會  
 して一算とていふと  
 又云單位と云と云  
 と云一算ハ八算れ  
 八算より八算云  
 銀子五貫目と云

二刻

第二八算 付リりめ并割

二 天作五  
 逢二進 一十  
 二六二四より八算一四ありハ  
 八と云れと云りてハ二六二四  
 二六二四より八算一四ありハ  
 上二六二四より八算一四ありハ

銀百貳拾三兩分又重と二ツよりハ  
 ○六拾五兩七分貳厘ハモ

リ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
カ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ナ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ハ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ヘ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ニ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ホ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
フ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ク	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ケ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
コ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
サ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
シ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ス	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
セ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ソ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
タ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
チ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ツ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
テ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ト	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ナ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ハ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ヘ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ニ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ホ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
フ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ク	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ケ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
コ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
サ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
シ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ス	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
セ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ソ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
タ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
チ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ツ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
テ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ト	二六二四より八算一四ありハ	二六二四

△かめ并割

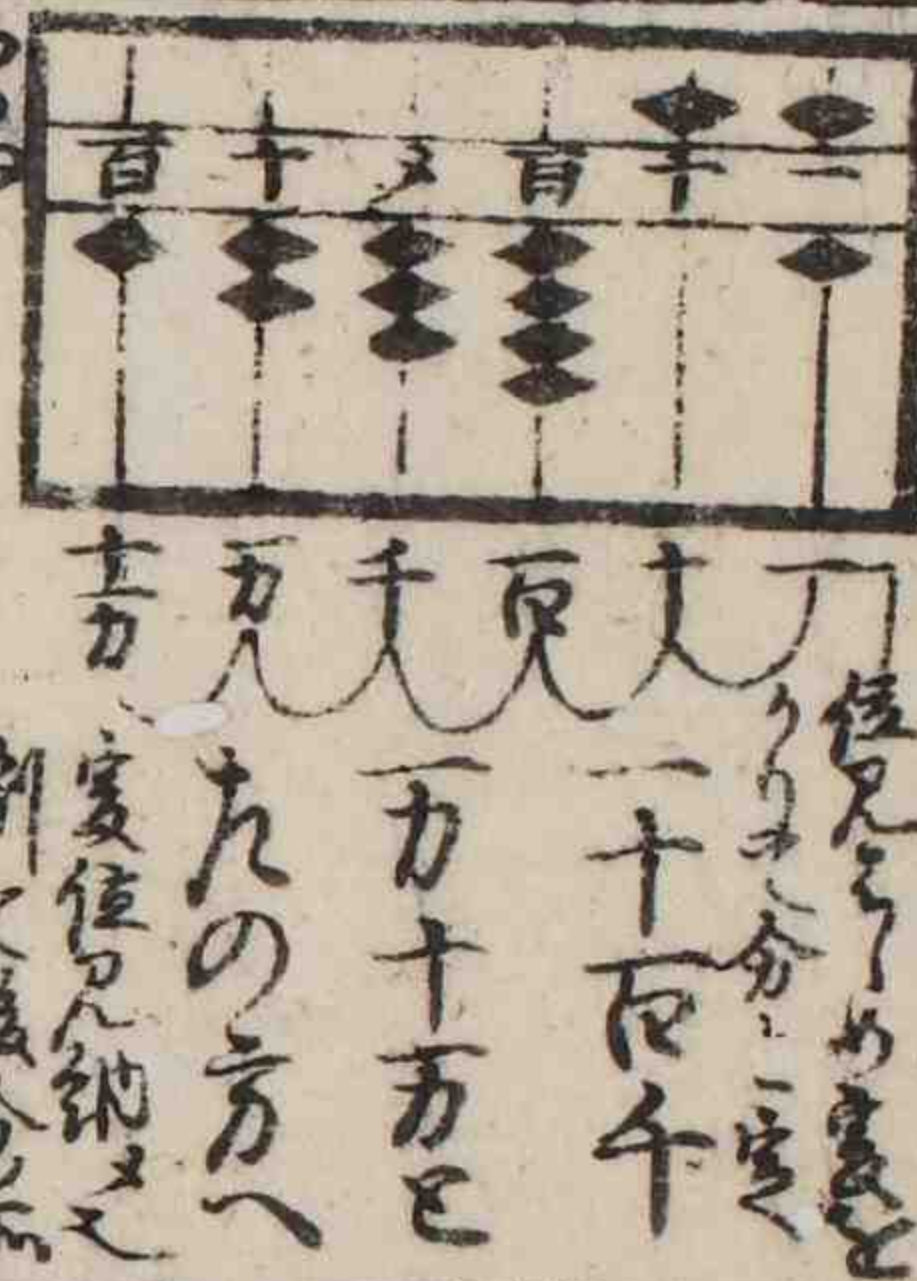
リ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
カ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ナ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ハ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ヘ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ニ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ホ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
フ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ク	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ケ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
コ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
サ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
シ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ス	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
セ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ソ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
タ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
チ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ツ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
テ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ト	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ナ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ハ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ヘ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ニ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ホ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
フ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ク	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ケ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
コ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
サ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
シ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ス	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
セ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ソ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
タ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
チ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ツ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
テ	二六二四より八算一四ありハ	二六二四
ト	二六二四より八算一四ありハ	二六二四

りるといへども算目  
 宛と知よりきき  
 月と式十百は割と  
 いへど何れと云位所  
 時よ知よりきき  
 の見れば算目記  
 たへハ銀百貳拾三兩  
 足百貳拾三兩と二十万  
 よりる時ハ何れと云  
 算目重七と云  
 系ハ忽位と云  
 術曰一れ下よりて

三進	一十	二六二四より八算一四ありハ
三二	六十二	二六二四より八算一四ありハ
三一	三十一	二六二四より八算一四ありハ



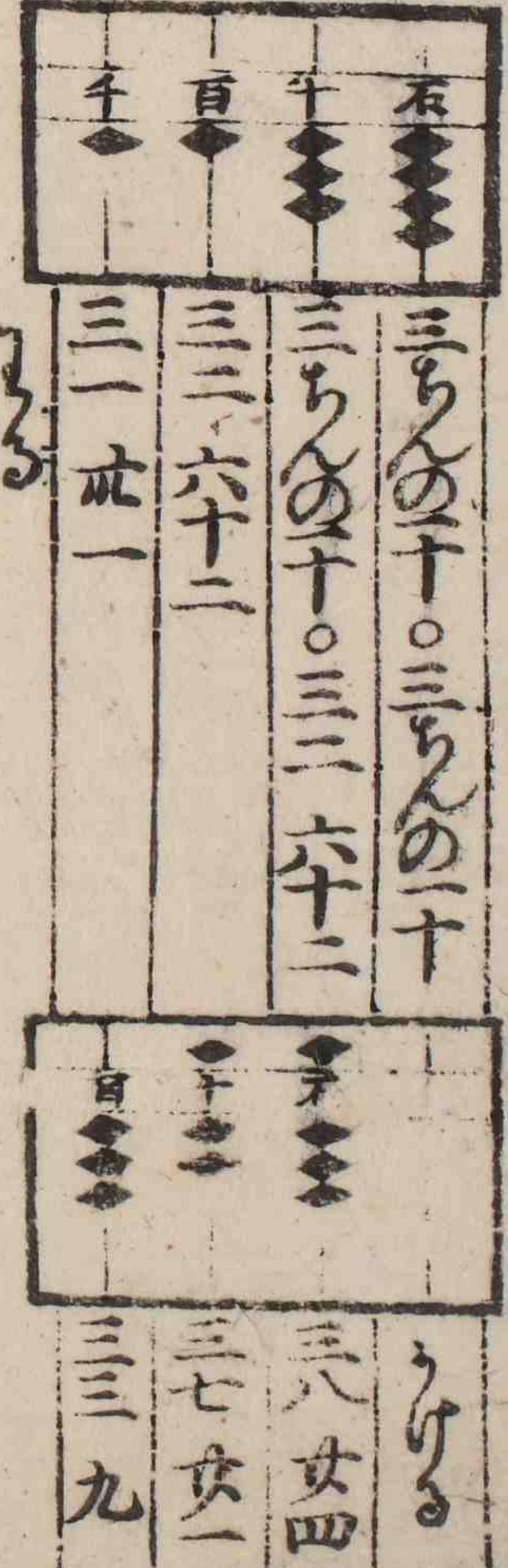
分の所と定まれば



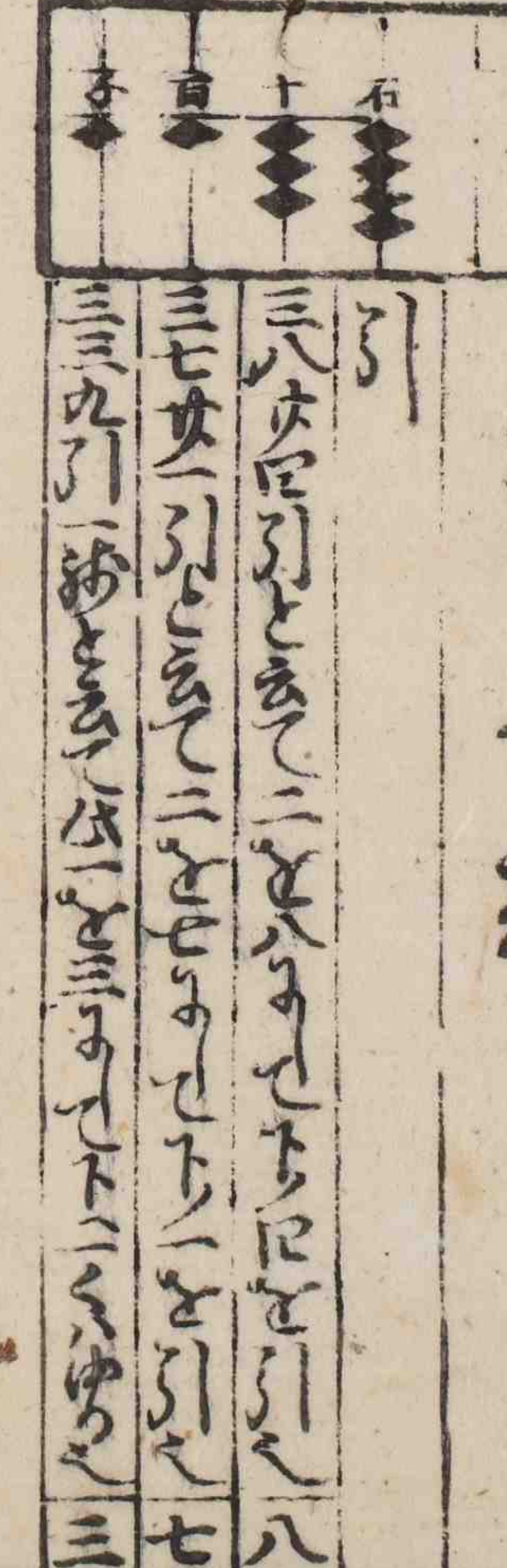
ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら  
ずるよりして後金に  
あつたなり又下り内  
ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら

米千石三振四石と三つより

○三石七振八石より



かめ井割



ある一かたより

ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら  
ずるよりして後金に  
あつたなり又下り内  
ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら

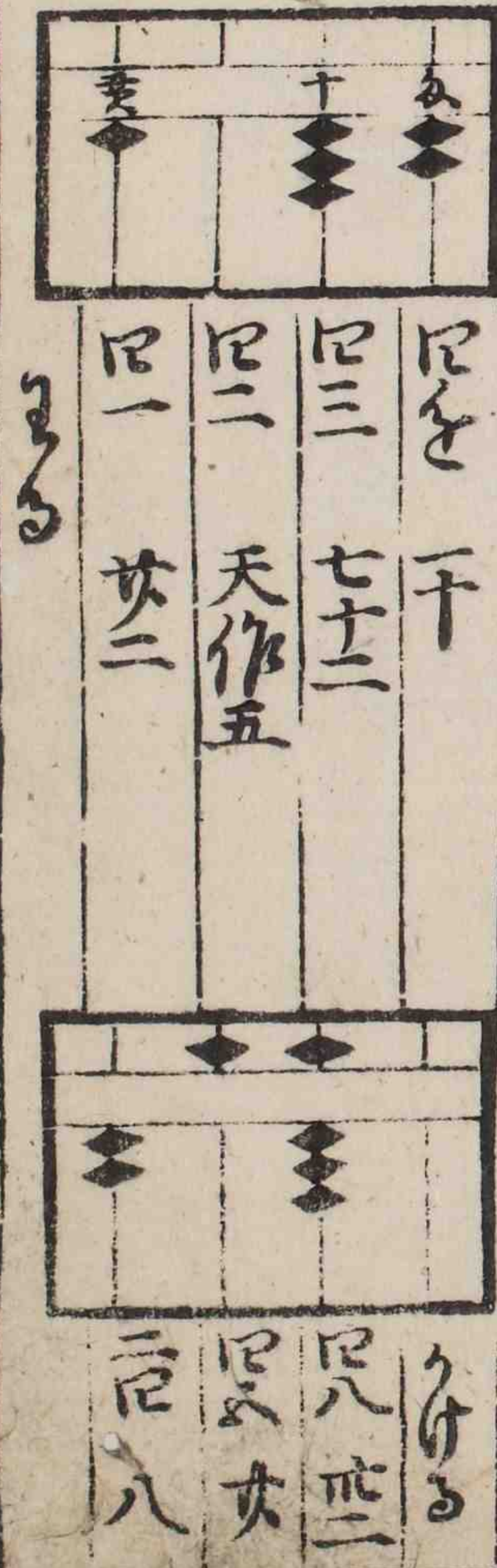
四 割

四一	二十二	と八はよりある時一つあつた 一と二よりある時二つあつた
四二	天作五	と八はよりある時二つあつた 一と二よりある時二つあつた
四三	七十二	と八はよりある時三つあつた 一と二よりある時三つあつた
四進	一十	と八はよりある時四つあつた 一と二よりある時四つあつた

銀を黄三振式と四つより

○三石七振八石より

ある一かたより  
ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら  
ずるよりして後金に  
あつたなり又下り内  
ある時右の方へ分重  
と入下りあり何程に  
てもびくわきて動ら





二万 後位兄納メ  
謝て後ノ事ヲ知  
テ  
百千 万  
百千 万  
万と存心愛  
ハ  
ハ

位と見たり廿二万と  
掛んは十万と云ふと  
候る事引け云とら  
合て後一云と知し又  
より内と懸元時を  
片の方へ分重と見  
るに何程とをいふ  
て助らにかゝる帯をほ

凡此二引より三と八にて下ニを引也  
又廿引と上とのめをわけては二三引之  
二四八引てのちをきてはつと二ありて  
り二物く也

二	五	八
---	---	---

加  
め  
并  
割

五一 五二 五三 五四 五進

加一 加二 加三 加四 一十

[illegible]

うけりり位の凡そ  
區々ありと云ふ初  
めにありは凡そ  
うんう何れの位と云  
ふと云ふ推て云ふに  
實より是非判と名付  
らるる一は古法の教  
新編法集記と云ふ  
出づり古法といふ  
十要盤と云ふといふ  
分母本盤と云ふ  
実方式と云ふて除あり

米六石七分三合と又川より六

○卷之三 詩 八合 六夕 三

合 沐 牙 石

五三 加三  
五に 加二  
五りの二十〇五二 加二  
五りの二十〇五一 加一  
三三

合 株 牙 石

五六 五八 四八 三八 一八

加外并刻

石 斤 兩 斤

五六世引と云へば三を六よりとりなり  
五八世引と云へば四を八よりとりなり  
四五世引と云へば上の二を五よりとりなり  
一五五引と云へば上の二を五よりとりなり  
一と三ありて  
下にてあり

六	八	四	三	一
---	---	---	---	---



本書曰 龜井割ハ  
 九引そろふんとて  
 びうーゝゝゝゝゝ  
 代の人たゝゝゝゝ  
 すゝゝゝゝゝゝ  
 八算見一と見るる  
 りのせすゝゝゝ  
 りゝゝゝゝゝゝ  
 ありゝゝゝゝゝゝ  
 見一ゝゝゝゝゝ  
 終ゝゝゝゝゝ  
 算を捨ゝゝゝゝ

六一	加下四	とハ六ゝゝゝゝ時二何あゝハ一ツハ そゝゝゝゝゝ下へ下へゝゝゝゝ
六二	三十二	とハ六ゝゝゝゝ時二何あゝハ一ツと 三ゝゝゝゝ下へ二何くゝゝゝ
六三	天作八	とハ六ゝゝゝゝ時三何あゝハ ゝゝゝゝゝゝ
六四	六十四	とハ六ゝゝゝゝ時四何あゝハ とゝゝゝゝ下へ四何くゝゝゝ
六五	八十二	とハ六ゝゝゝゝ時五何あゝハ とゝゝゝゝ下へ五何くゝゝゝ
六進	一十	とハ六ゝゝゝゝ時六何あゝハ とゝゝゝゝ下へ六何くゝゝゝ

振式拾七算百を収分と  
 ○三算又百振六九分

あやまり也むいれ  
 るゝけ術ハいゝゝゝ  
 るゝ九引九井割の  
 とゝゝゝゝゝゝ  
 最ハゝゝゝゝ  
 高算方式と除  
 是ゝゝゝゝ  
 也上難西難  
 術する時ハ高算方  
 廣隅ゝゝゝゝ  
 求ゝゝゝゝ  
 四術式新妙ゝゝゝ

分	六八の千	分	六五八十四
五	六八八十二	五	六六六六
四	六四六十四	四	一六六
三	六一加下四	三	六六六
二	六三 天作八	二	六六六
一	六三 三十二	一	三六十八

加め井割ハゝゝゝゝ  
 びうーゝゝゝゝ  
 どゝゝゝゝ  
 用はるゝゝゝの世



約くつ 約る商実  
 方式の多引と記  
 重きより一歩とる人  
 たとへ銀石式積るより  
 又重と二ツ除に何種と  
 答六積るを二重電  
 約る日銀石  
 式積るより  
 又重と二ツ  
 金銀の除  
 の二と重電  
 先位とるより二方の  
 二と九の重二と二行免  
 又上より十の位あるを

七二	加下三	七二より三の時一つあつてハハ そよりて下三つあつてハハ
七三	加下六	七二より三の時二つあつてハハ そよりて下六つあつてハハ
七四	加下九	七三より三の時三つあつてハハ そよりて下九つあつてハハ
七五	加下十二	七四より三の時四つあつてハハ そよりて下十二つあつてハハ
七六	加下十五	七五より三の時五つあつてハハ そよりて下十五つあつてハハ
七七	加下十八	七六より三の時六つあつてハハ そよりて下十八つあつてハハ
七八	加下二十一	七七より三の時七つあつてハハ そよりて下二十一つあつてハハ
七九	加下二十四	七八より三の時八つあつてハハ そよりて下二十四つあつてハハ
八〇	加下二十七	七九より三の時九つあつてハハ そよりて下二十七つあつてハハ
八一	加下三十	八〇より三の時十つあつてハハ そよりて下三十つあつてハハ
八二	加下三十三	八一より三の時十一つあつてハハ そよりて下三十三つあつてハハ
八三	加下三十六	八二より三の時十二つあつてハハ そよりて下三十六つあつてハハ
八四	加下三十九	八三より三の時十三つあつてハハ そよりて下三十九つあつてハハ
八五	加下四十二	八四より三の時十四つあつてハハ そよりて下四十二つあつてハハ
八六	加下四十五	八五より三の時十五つあつてハハ そよりて下四十五つあつてハハ
八七	加下四十八	八六より三の時十六つあつてハハ そよりて下四十八つあつてハハ
八八	加下五十一	八七より三の時十七つあつてハハ そよりて下五十一つあつてハハ
八九	加下五十四	八八より三の時十八つあつてハハ そよりて下五十四つあつてハハ
九〇	加下五十七	八九より三の時十九つあつてハハ そよりて下五十七つあつてハハ
九一	加下六十	九〇より三の時二十つあつてハハ そよりて下六十つあつてハハ
九二	加下六十三	九一より三の時二十一つあつてハハ そよりて下六十三つあつてハハ
九三	加下六十六	九二より三の時二十二つあつてハハ そよりて下六十六つあつてハハ
九四	加下六十九	九三より三の時二十三つあつてハハ そよりて下六十九つあつてハハ
九五	加下七十二	九四より三の時二十四つあつてハハ そよりて下七十二つあつてハハ
九六	加下七十五	九五より三の時二十五つあつてハハ そよりて下七十五つあつてハハ
九七	加下七十八	九六より三の時二十六つあつてハハ そよりて下七十八つあつてハハ
九八	加下八十一	九七より三の時二十七つあつてハハ そよりて下八十一つあつてハハ
九九	加下八十四	九八より三の時二十八つあつてハハ そよりて下八十四つあつてハハ
一〇〇	加下八十七	九九より三の時二十九つあつてハハ そよりて下八十七つあつてハハ

商六十と五方二と切り  
 合はた後と実と  
 約るより一歩とる人  
 二と九の重二と二行免  
 又上より十の位あるを

七二	加下三	七二より三の時一つあつてハハ そよりて下三つあつてハハ
七三	加下六	七二より三の時二つあつてハハ そよりて下六つあつてハハ
七四	加下九	七三より三の時三つあつてハハ そよりて下九つあつてハハ
七五	加下十二	七四より三の時四つあつてハハ そよりて下十二つあつてハハ
七六	加下十五	七五より三の時五つあつてハハ そよりて下十五つあつてハハ
七七	加下十八	七六より三の時六つあつてハハ そよりて下十八つあつてハハ
七八	加下二十一	七七より三の時七つあつてハハ そよりて下二十一つあつてハハ
七九	加下二十四	七八より三の時八つあつてハハ そよりて下二十四つあつてハハ
八〇	加下二十七	七九より三の時九つあつてハハ そよりて下二十七つあつてハハ
八一	加下三十	八〇より三の時十つあつてハハ そよりて下三十つあつてハハ
八二	加下三十三	八一より三の時十一つあつてハハ そよりて下三十三つあつてハハ
八三	加下三十六	八二より三の時十二つあつてハハ そよりて下三十六つあつてハハ
八四	加下三十九	八三より三の時十三つあつてハハ そよりて下三十九つあつてハハ
八五	加下四十二	八四より三の時十四つあつてハハ そよりて下四十二つあつてハハ
八六	加下四十五	八五より三の時十五つあつてハハ そよりて下四十五つあつてハハ
八七	加下四十八	八六より三の時十六つあつてハハ そよりて下四十八つあつてハハ
八八	加下五十一	八七より三の時十七つあつてハハ そよりて下五十一つあつてハハ
八九	加下五十四	八八より三の時十八つあつてハハ そよりて下五十四つあつてハハ
九〇	加下五十七	八九より三の時十九つあつてハハ そよりて下五十七つあつてハハ
九一	加下六十	九〇より三の時二十つあつてハハ そよりて下六十つあつてハハ
九二	加下六十三	九一より三の時二十一つあつてハハ そよりて下六十三つあつてハハ
九三	加下六十六	九二より三の時二十二つあつてハハ そよりて下六十六つあつてハハ
九四	加下六十九	九三より三の時二十三つあつてハハ そよりて下六十九つあつてハハ
九五	加下七十二	九四より三の時二十四つあつてハハ そよりて下七十二つあつてハハ
九六	加下七十五	九五より三の時二十五つあつてハハ そよりて下七十五つあつてハハ
九七	加下七十八	九六より三の時二十六つあつてハハ そよりて下七十八つあつてハハ
九八	加下八十一	九七より三の時二十七つあつてハハ そよりて下八十一つあつてハハ
九九	加下八十四	九八より三の時二十八つあつてハハ そよりて下八十四つあつてハハ
一〇〇	加下八十七	九九より三の時二十九つあつてハハ そよりて下八十七つあつてハハ



一乃退テ商六十五のハ  
 六と重方ハ二と合ニ  
 三合ハ実六十八重  
 六の重ニ  
 六六十五重  
 六十八重

百	十	一	分	厘	毛	
	上	一	二	三	四	商
				一		実
					二	方

と一乃退テ商六十一重  
 六十八重  
 六十八重  
 六十八重  
 六十八重  
 六十八重

銀百三貫俵是又六分と八ツまゐり

分	分	分	分	分	分	分	分
八進一千〇八日天信入	八三加卜六	八五六十二	八六七十四	八七十八十六	八二加卜四	八一加卜二	
リ	分	分	分	分	分	分	分
五八四	八八廿二	八八廿八	八八三十四	八八四十	八八四十六	八八五十二	八八五十八







見一五成倍  
一倍  
銀百文  
安同

第三見一弄  
冬引葉  
其方は割

見一五九

見一と首安三と建<sup>レ</sup>ハリ割<sup>テ</sup>ハリ引割<sup>テ</sup>ハリ  
どる。要之ハ爾ナ二ツ見<sup>テ</sup>引<sup>カ</sup>重<sup>ク</sup>  
ハ見一兼作<sup>ル</sup>ニト立<sup>テ</sup>カ二と九と作<sup>ラ</sup>更<sup>ニ</sup>  
との割付と同安の事なぬよりハリ元  
府ずして引もあつたは一倍といひて  
割付の皮を一引下へくうてゆく也。

一億

報古及今。十三は口。八女。う。わ。が。

[illegible]

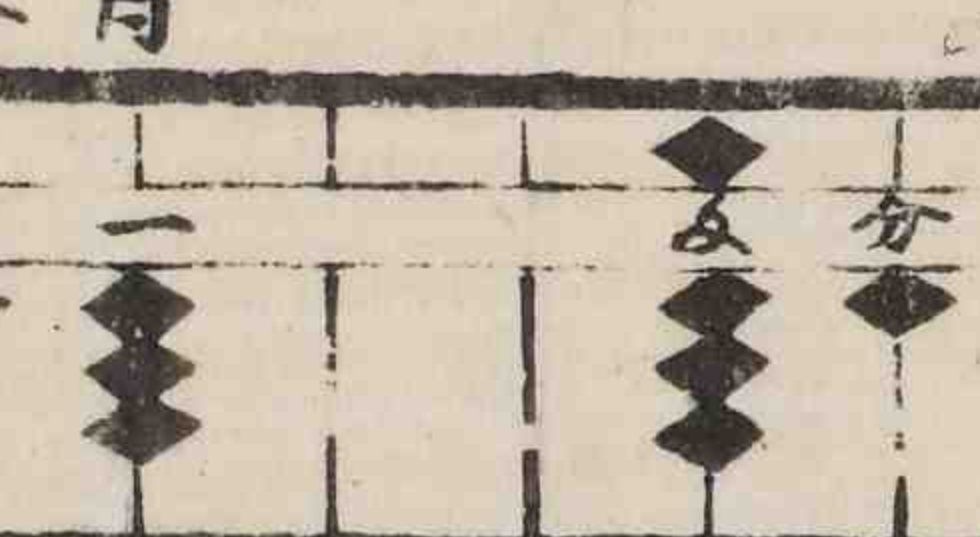
○石又女三子と云

右分金。十三と云ふ

此書の作者在法と認め

今よりいふに、  
我々の成るべきとき  
は、一と多し、いふに九  
引、女と云ふ高き方  
に、御あり、いろはの刻  
と云ふ月のこと、女あり  
孫を女名と云う付て  
する、<sup>たか</sup>おのさま、い  
は、いとあるとあり  
見一の割え、けんの時  
位、わんねあると云ふ記ス

安月



十	一		五	分
---	---	--	---	---

[illegible]

九引算

一の引とまで 一くまま 今くまま 三三三下引  
ひつひ 目安三をぬぐひ  
 八引て二のころとりのてひて八て三をぬぐひ  
 右にひぬぐふとす二の割也何れに  
 よしては月ひかりなり是と今うめ  
 井井とあつくむり、あるまさん也

安目

十 一 一 五 一



# 電気通信大学附属図書館







見るよにたのき入十と  
見ふ十位にたのき  
位と見ふよにたのき  
除ぬたのき

商	分	十	百	千	万
一	三	一	一	一	一
一	三	一	一	一	一
一	三	一	一	一	一
一	三	一	一	一	一

安目 安

分	十	百	千	万
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

引六十一貫目百貳拾貳三  
八分六厘七毫

五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三

見るよにたのき入十と  
見ふ十位にたのき  
位と見ふよにたのき  
除ぬたのき

見るよにたのき入十と  
見ふ十位にたのき  
位と見ふよにたのき  
除ぬたのき

安目 安

分	十	百	千	万
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一

引三拾六貫目百八十  
六分七厘七毫

五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三
五三三	六三三	五三三	六三三	五三三	六三三

見六五及他九六  
不引時減二倍六











ありてあてて刻い  
尺とるにやましく

田畑右方六尺八寸

新方八尺八寸八厘

のり八寸八厘あり

③三子歩八一町 破板別

町法とす

④七九と八四 積法七分

九厘あり

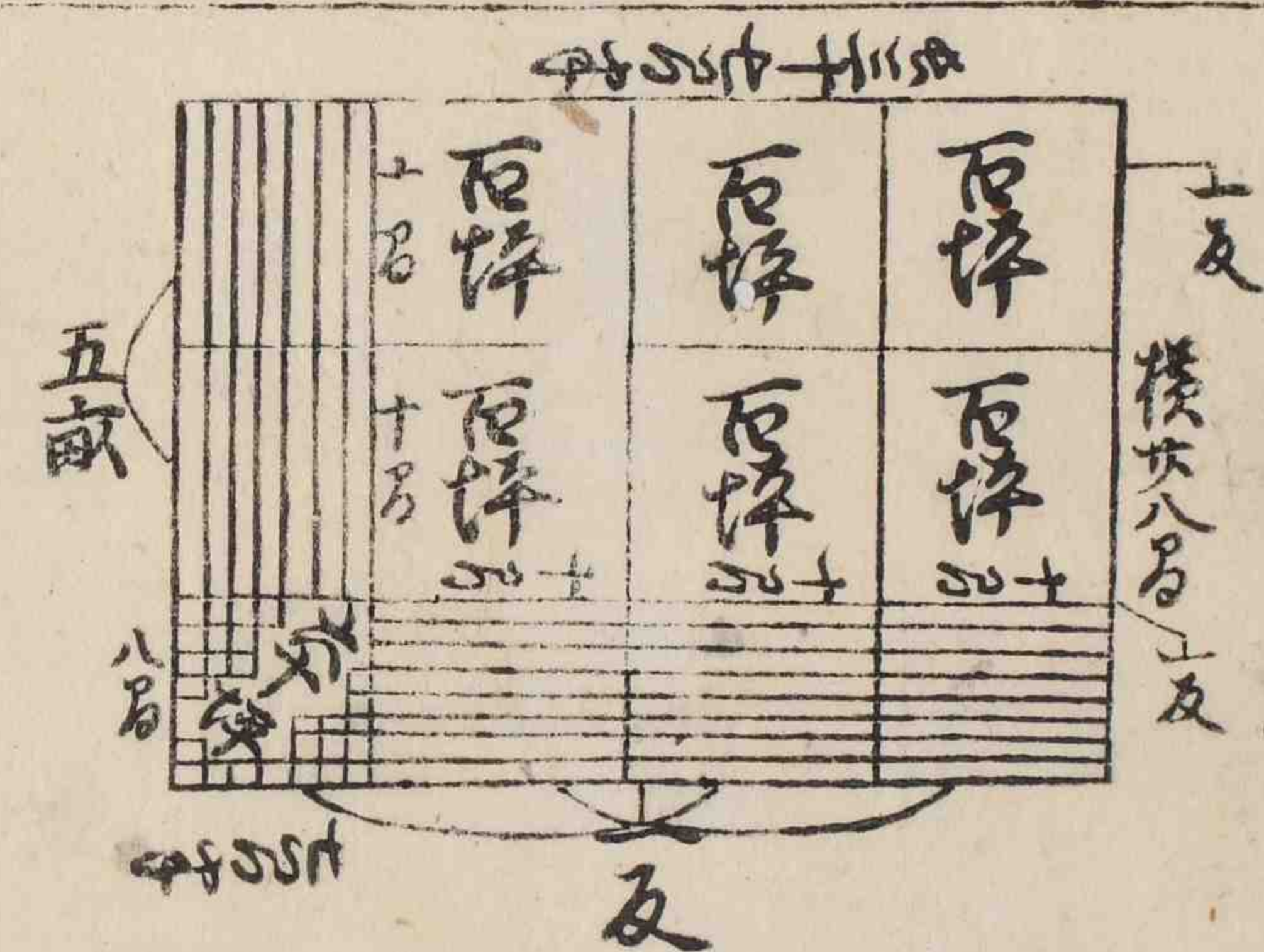
⑤一二六に八位 通あり

十二六にあり け法八周

法の二分六と自乗

①長三俵七尺半 横式積八尺五寸  
け田何種とす

長三反又八畝といふあり



是ハ長七尺半半三横  
廿八畝とわかれ八千  
又五俵とわかれと四  
の法三二と割ハ三反  
八畝とわかれあり

して田積法七分九厘  
うて除くゆゑあり

⑥二分八の四田積法

七分九厘と引跡二分

五厘とわかれあり

⑦四十二反八六八寸

自乗して知あり

田地よりいへりう名

あり又いふまゝは田地の

名とわかれりて量

るにふくむるあり

量とわかれりて也

け田何種とす

長八十一反二尺三寸

ある是は横に十尺とす

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

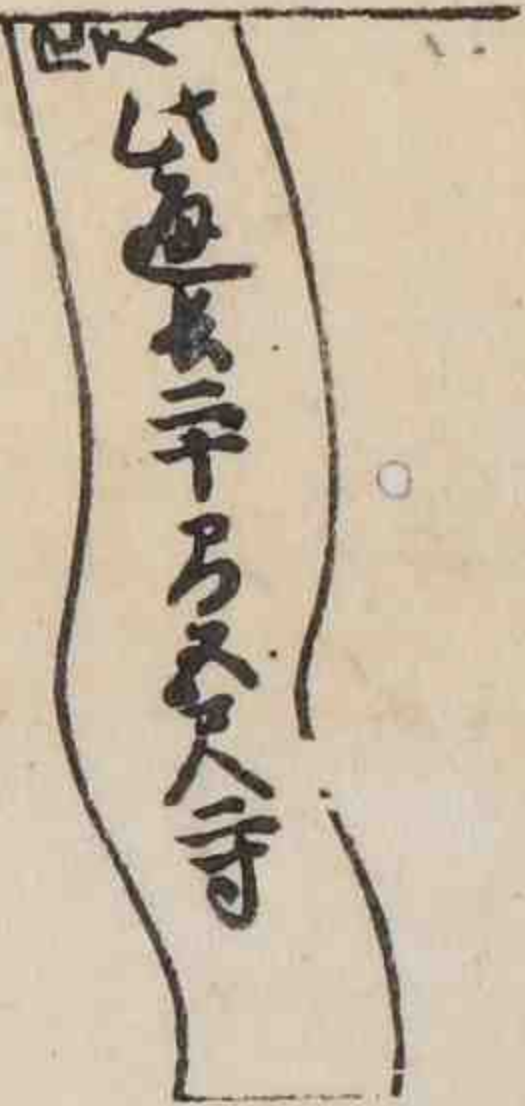
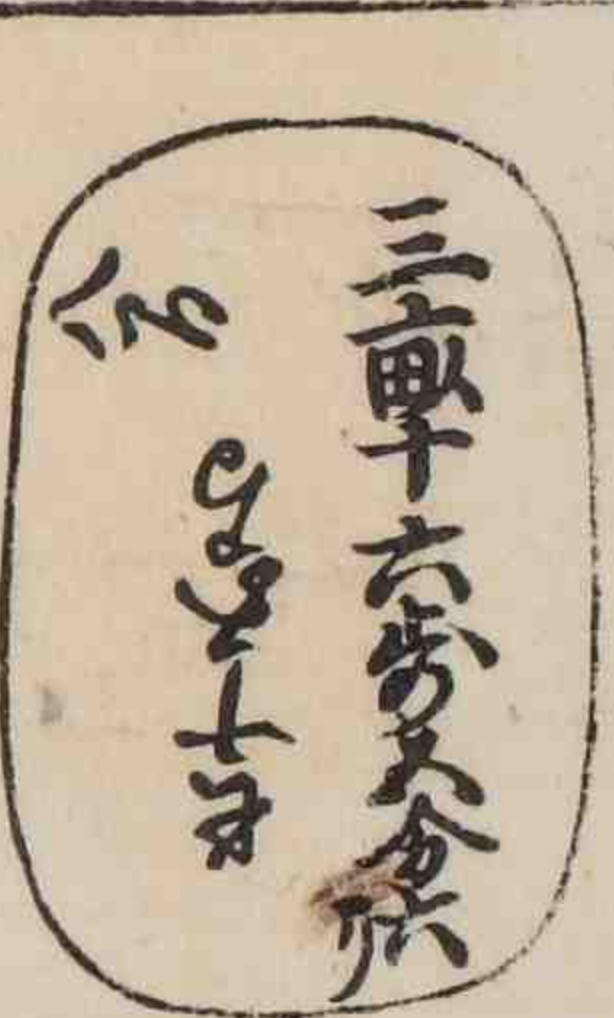
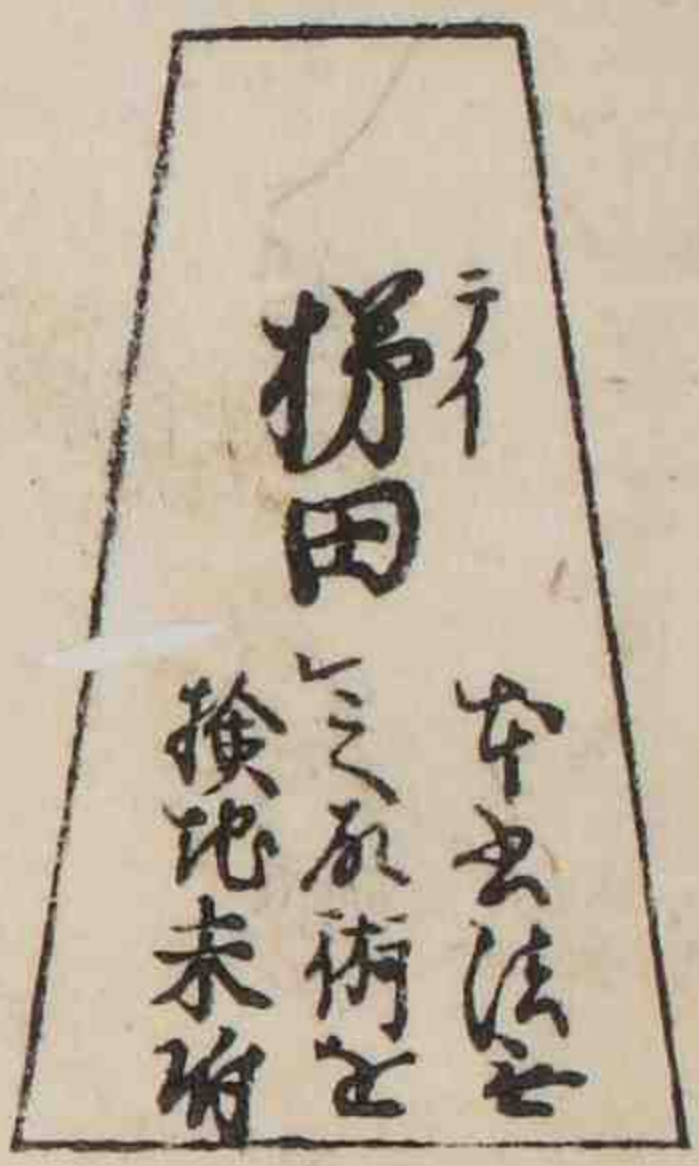
とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸

とすは横に十尺とすわかれハ三子六反八寸







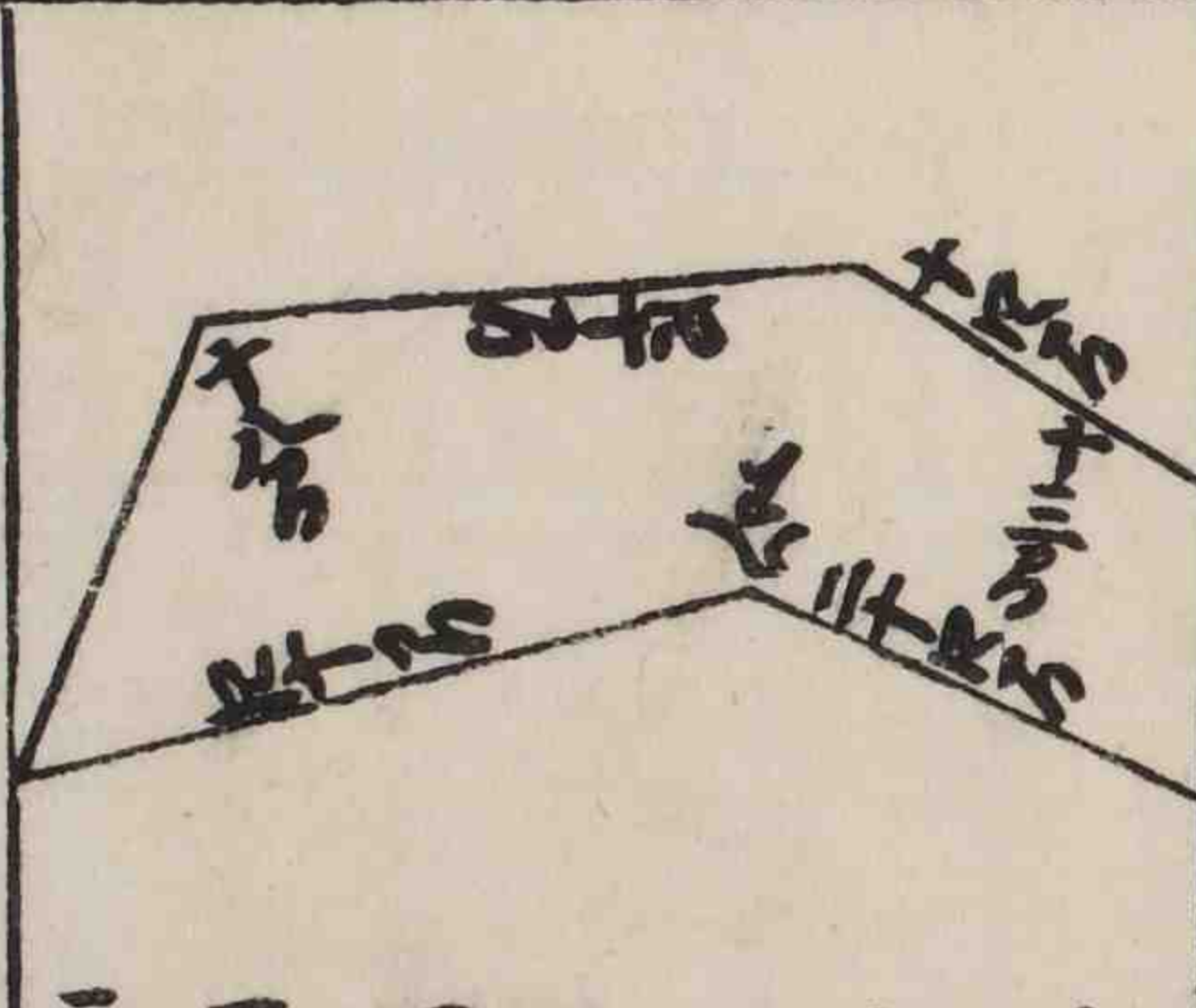
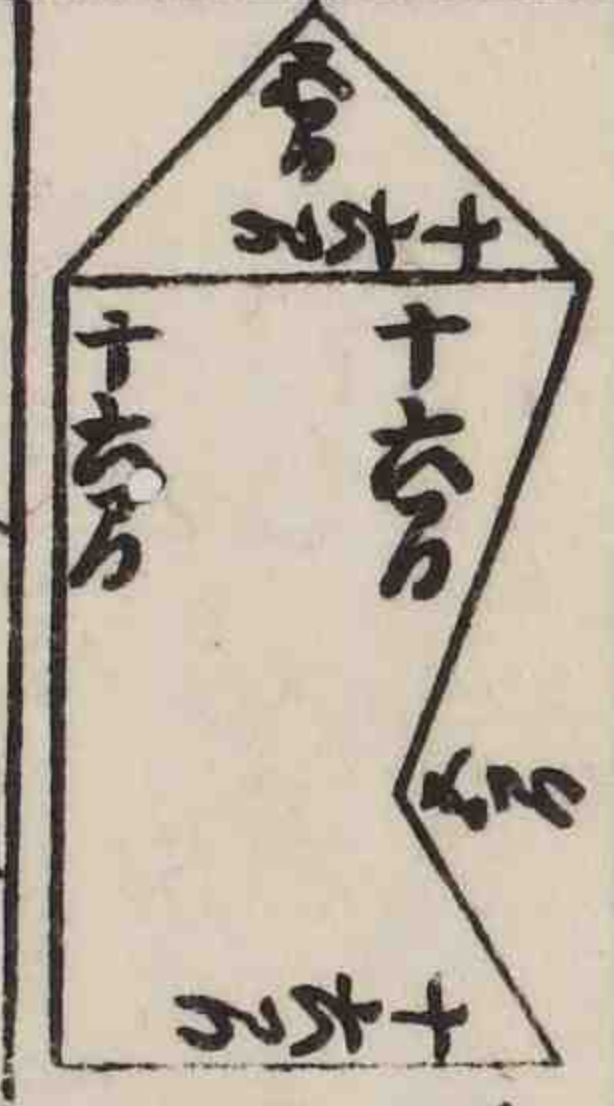


△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ



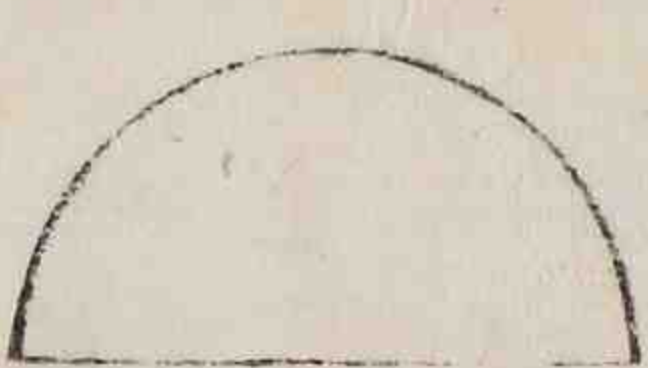
△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ

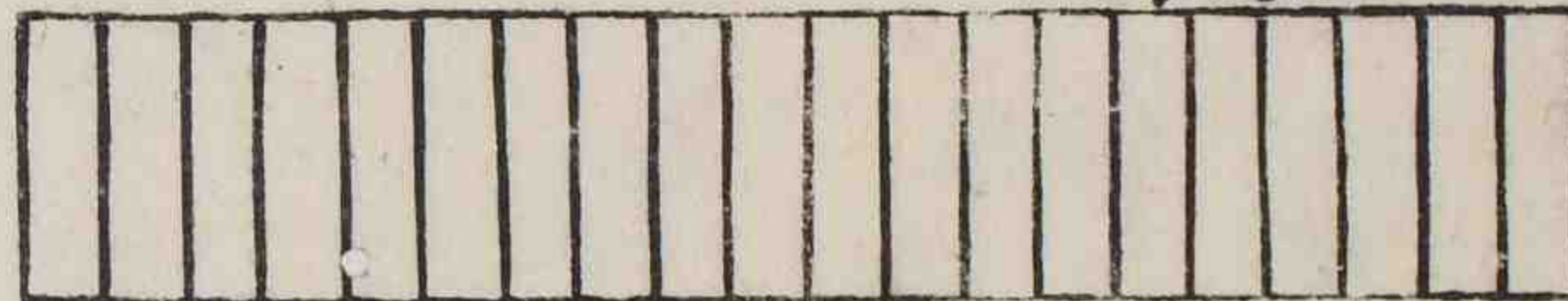
△是ハ反八歩十畝ニ合テ合三万  
二ふ反七坪とハ是ニ三六反割  
八千七百八十坪とハ是ニ四の法  
三ニ割ハ反八畝十歩とハ是ニ





西暦月ハ田法  
畹田ハ畹月ノ異  
形弧田とも云  
本書ニ法を九檢地  
未ハ例と附ル

田ノ法



と云ふ條の廣は尺を寸として四方より一寸を  
とかりけしをとりて畹田の法を以て  
畹二反八畝千九百七十九と云はる條より  
切時先百二尺を寸とすれば六十寸三人と  
かひ内寸引おとす人寸を刻八百四十尺  
と必是三人とすれば七十寸三人と必是  
おとす寸と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ  
おとす三人八寸と必是と云ふと云ふと云ふ  
うれハ人坪三方六寸七尺四十八坪八必是  
と坪坪法に三三三三三三三三三三三三三  
と云ふと必是と田の法に三三三三三三三  
九百七十九九百七十九と云ふと云ふと云ふ  
又畹田の法と云ふ切時ハ二反九畝七分二厘  
畹一畹の内を三三三三三三三三三三三三三

畹田ノ法檢地ニ

といふも畹田

本書曰畹田の法

畹田切時ハ二反九畝七分

二厘と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

畹田

文書

七二

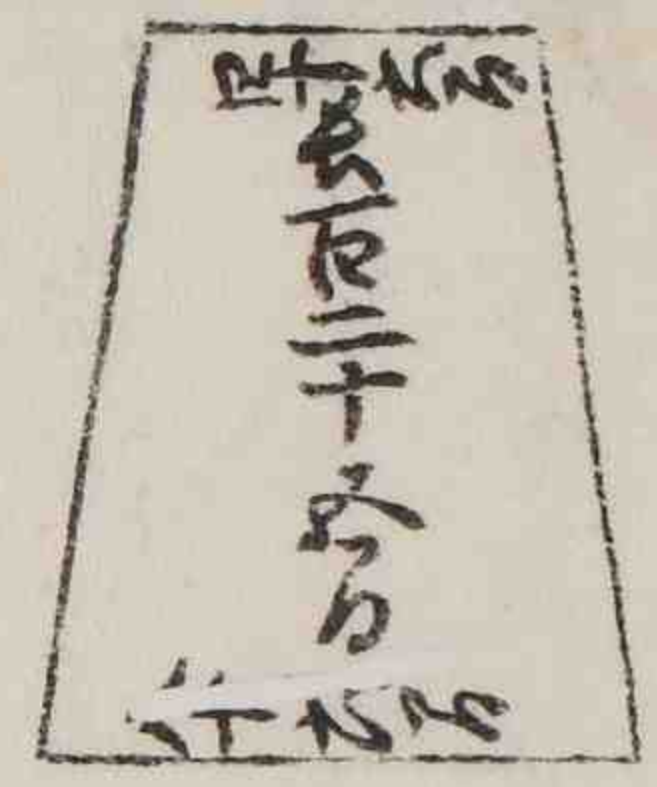


長百二尺

右にけんのわいりく地敷をわうといふ  
くその時ハ尺を寸として四方より一寸を  
とかりけしをとりて畹田の法を以て  
畹二反八畝千九百七十九と云はる條より  
切時先百二尺を寸とすれば六十寸三人と  
かひ内寸引おとす人寸を刻八百四十尺  
と必是三人とすれば七十寸三人と必是  
おとす寸と云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ  
おとす三人八寸と必是と云ふと云ふと云ふ  
うれハ人坪三方六寸七尺四十八坪八必是  
と坪坪法に三三三三三三三三三三三三三  
と云ふと必是と田の法に三三三三三三三  
九百七十九九百七十九と云ふと云ふと云ふ  
又畹田の法と云ふ切時ハ二反九畝七分二厘  
畹一畹の内を三三三三三三三三三三三三三



おとよき歩積り家よ加へ記ス



△街に千六万と八千六万と合百三十二万と知長百二十万を  
おまゝして是とまゝなりて八千六百五十歩と知と田の法  
三よりて除くハ 武町七反八畝と知るなり



△街長百八十万より横三十万と知おまゝして是とまゝなり  
よりて田の法三よりて除くハ 武町。八畝十二歩と知



△街お周百十八万と自家してゆめと内周百三十三万二分  
と自家してゆめと引跡二万。九百六十九歩七と知と実  
より十二六四と知よりて除くお六百五十九歩と知と  
田の法三よりて除くハ 八反八畝九歩と知るなり



△街お周百十八万自家してゆめと実より十二六四よりて  
除くお九百七十八歩と知内と知方千五と自家してゆめと  
引跡お六百七十八歩と知と田の法三よりて除くハ

お反二畝十八歩と知るなり



△街矢十万と強二十万と知おまゝして二反歩と知田積  
法七分九と知おまゝして百十八歩と知と畝法三よりて除  
く 八畝八歩と知るなり

△換地よりぬき算よりて算のゆめ換地者者のまゝ乳の  
まゝよりておぬの形と知おまゝして腕先よりよりておぬの山畑  
おの換地のよりよりてよりよりてよりよりてよりよりてよりよりて

△斗代よりへたへへ反

△斗代より

よつこもをんとすの  
とらとといへ十八とい  
しとを名八斗代とい  
おまゝなり

△二反八畝お附一反付斗代一石八斗と知より何種と知  
よりお八斗と知 太八二反八畝二石八斗と知より何種と知  
△八畝十八歩お附一反付二石八斗代よりてより何種と知  
より二石八斗三斗と知 太八八畝十八歩と知より何種と知  
△三割八八畝お知是二石八斗と知より何種と知



物は四六分と五八分  
十方石と八四万六千石  
納<sup>り</sup>金<sup>り</sup>五<sup>り</sup>千<sup>り</sup>八<sup>り</sup>百<sup>り</sup>十<sup>り</sup>六<sup>り</sup>千<sup>り</sup>

他と云はると十人の

一妙てそ一とまひと云

以柔八  
九柔是必付

三木マサヨリ

史承公 承公長子

八味ヲ云々

古法又をうとふ人

へきふふ斗の四斗

五之五上云是十之

△町二反三畝より高女二石一斗四升は是ハ何石代  
ハ高女と云 一石八斗代ハ高女と云 高女二石  
一斗四升と二町二反三畝ハ一石八斗と云と云

第八節 新方藥

△高十又万石。此物如写六令。如耐物。如一石。付口乘。

三才丈夫八才下してはるのゆか何處そは兼夫

米何種之そ高 善物成六万九千石米二千七十

石史系父子而世居之云 右ハ高十八万石同ウテ

に象を以て又物か八事と云ふは史記に云ふ

△又三日の成集會一交より三時ハ三集と交八集會

一斗末五<sup>リ</sup>乞三ふく<sup>リ</sup>て男六分<sup>と</sup>うけ<sup>れ</sup>と

高よかれんが承は承ま承た合七万六千六百九十

のふれし今ふりし

又長子も嘉の四

事と事と事と事と

なり是今云内之

二五八 一割求元

一とけて知るなり

毛見欠氣と云ふ

此之謂也

つゝいふやうな

かゝる道に於て

王明之先生

讀書

石と夜はあまなり

△物感車米 三 口米 籟 吏牙之口含七方六子及夜

李存存府抄自一家口每八抄一不紅三寸五

高十又万石と云 太八三束と八束合二斗一束あり

是二石加て四つ五分とけえハ五つ一分トたもハ

乞と目婁のて七方子を百九十石と刻ハると知レ

△又たのり来たりりハ何程高キキ来六万九千云々

△三、口餘八步、杖餘二舍七步、又百九十石五時

此本米六石九斗五升

右ハ二口の三米と一斗五升と刻ハ本年と知

△又志曰承計ハ何種ト云 口承ニ子亡不ト云

たせりぬ九十石三斗とひて二斗一斗で表の番毎に



い書よ 去子口八分  
みや 如耐高物何れ  
そと何とよよそと  
して術と附れり  
いゆこと法あり  
たふ去年口八分より  
如耐上中下田各一歩  
何れより去年上中  
下田の二歩刈ハ各何れ  
去子口何れと久免と  
云何ハふし何と云  
みや年十一年あり

△又史米らうりと四何ハせき石九十九石八斗と  
けりを斗を末て刻ハあらう  
△言十石方石ハ物ハ六方九石石五石ハ八石  
あるふ口六石あると云ハい言と目安と何れと刻  
△言三方石方石ハ物ハ六分物ハ一石二石三石  
と云言石ハ付三石つての史米と三石合二万七石六  
石三十三石定成の時内五二千三石ある物何れ  
よき物成米を方六石六石石ハ付三石何れ  
何れと云米何れ何れ石ハ米史米いつても何れ  
つと云 言言三万二千石四万九石五斗八斗三  
合何れ二万八千石六斗八斗八斗八斗四斗四斗七斗八斗  
三斗八斗九斗八斗八斗八斗八斗八斗八斗八斗八斗八斗  
と云言三万石石ハ刻ハ九三三八と云言と目安  
して川ハ米五二千三石と刻ハ二万五千石付七斗

七才

勅年等ていりあり  
じとく免免免免  
美術何れと何れ何れ  
或ハふと何れと何れ  
とて教勅の理と推て  
考ハ難免ハ一術と付  
あより何れと何れ  
ケ何れ何れと何れ  
意して考と何れ何れ  
かとりゆりゆり  
中七ヨリ 土三斗五加米  
蓋取米よ不載

△米石種と云言三万石石の内よて引ハ物二万二石  
九石十九石八斗八斗三合言と知ハ言ハ付六分と云  
れハ物と云り物ハ三斗と云れハ石と云り又物ハ  
言ハ三石と云れハ史代米と云り  
△報式石六十石年貢米三斗時ハ米一石付三斗  
つのは米と何れつての史米と云今米の言ハ  
ハ八石の石ハ一斗半言三斗時ハ米何れ何れ何れ  
ハ米石三斗六斗の石と云 八斗石と云三  
斗と八斗 言合石三斗五斗言三斗八斗と云け又  
二斗と云りそれと目安とて五斗と刻  
△東村ハ言合言五斗石何れ何れ何れハ八斗一  
斗三斗三斗言何れ何れ何れ何れ何れ何れ何れ何れ  
米と云何れ米一斗三斗つての石米三斗りて何れ  
何れ何れ何れ何れ何れ 言東村言千石



●六ひまるの法より  
 四四二六 中斜に  
 四四六八六 中斜に  
 四四二六と相乗して  
 知るなり

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

あ村より石と云 右の法より算するに  
 三石と云うに四十八石と云ふは是と云ふは八石十二石と  
 三石の内より引除くと三石と云ふは八石十二石と  
 十石と云ふは是と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 七石と云ふは是と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 引除くと三石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二分と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 七石と云ふは是と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と

第六 毛見丸お虎事

△高千三十石の取去年四八分と云ふは是と云ふは八石十二石と  
 何れに成ると云 若し二分と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 よめと云 右の法より算するに  
 八石と云ふは是と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 八石と云ふは是と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

●二二六八一と算して  
 四四二六と相乗して  
 一と除く得教と用  
 平方より知るなり

上中下 田舎四十六丁 比高八石五十二石

上中下 田舎四十六丁 比高八石五十二石

二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と  
 二石と云ふは八石十二石と云ふは八石十二石と



ふ八小星ハ一寸二分ハ  
星五二ゆへなり

龜井義記の九星ハ

るるくゆへなり

ありなり

ハもさきあきしてさ

さゆへありさゆへ

●七寸七分九厘と知ハ

三角積法に分三三と

二分一して知教と倍七

三角面入ふ除く知教

とい三角の中八寸分

右に七寸二分合ふは是は三丁八分と知れ  
ハ十九丁四寸五分合ふは二丁一丁ハ是と田方の言ハ  
ハ十一丁と知れ二分二厘と知れより知れと知れ  
田方も田方より知れと知れと知れなり

目録に記す毛と知れと知れなり

田三十二丁と知れハ七丁十六丁ハ是成ふ六分

田田の四十三丁ハ南年大田の二丁ハ南年

中やけハ三丁ハ南年大田の二丁ハ南年

ありて知れ何れをそ又南年大田何れをそ

是ハ六分八厘と知れハ南年大田何れをそ

六分と云ハハ先大やけの田二丁ハ南年大田

さゆへなりハ八分と知れハ三丁八分と知れハ二丁

に七丁ハ是と十三丁ハ是ハ三丁八分と知れハ二丁

と知れ中田の田二丁ハ是ハ三丁八分と知れハ二丁

おのりとい知教ハ

倍の知教と知れ

て知教二尺八寸と知

りて除く知教と知

知りて知七寸七分

と知れ

●七寸七分九厘と知ハ

面三寸七分九厘と知ハ

りて知教倍の知ハ

六分三角と知れ

知教と二分一と知

知れハ是と知れ

歩これハ三丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ二丁八分

七合と知れハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

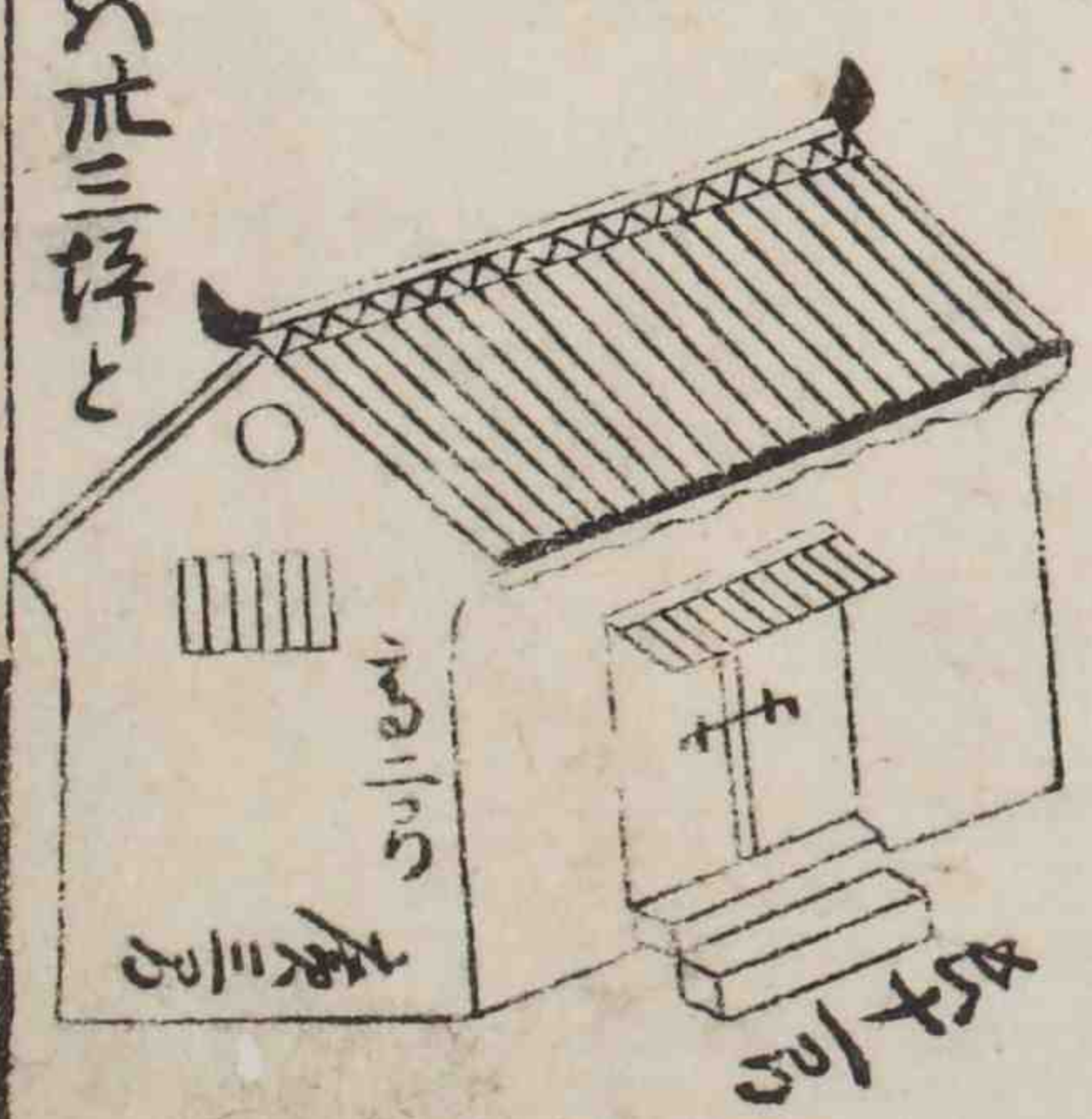
二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ

二丁八分ハ是ハ三丁八分と知れハ三丁八分と知れ









まへよりしうす

① 系統の法三とまへに

孫名をたは法よハ推

法のこまこまりてより

れよりあるあり

② 二とまへ換地のふ

み有まといひあり

③ 八二二七六八今株の

法六八二七と実りて

田換法と除く知く

實りて田換法よハと

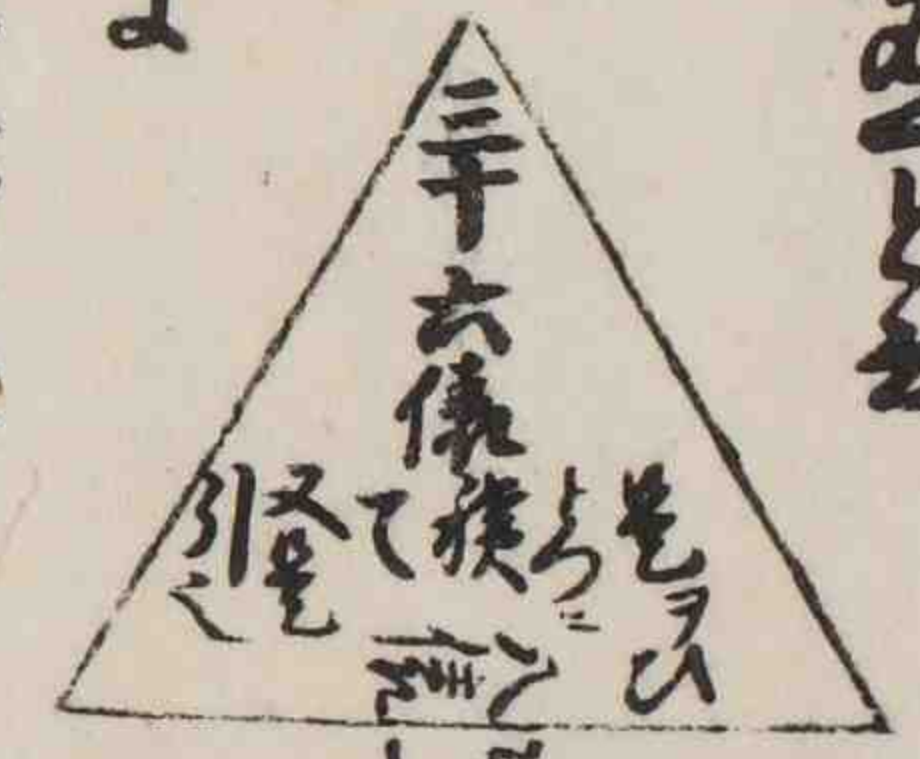
用りけりとるへり

△ け換り下のとへ二十一係

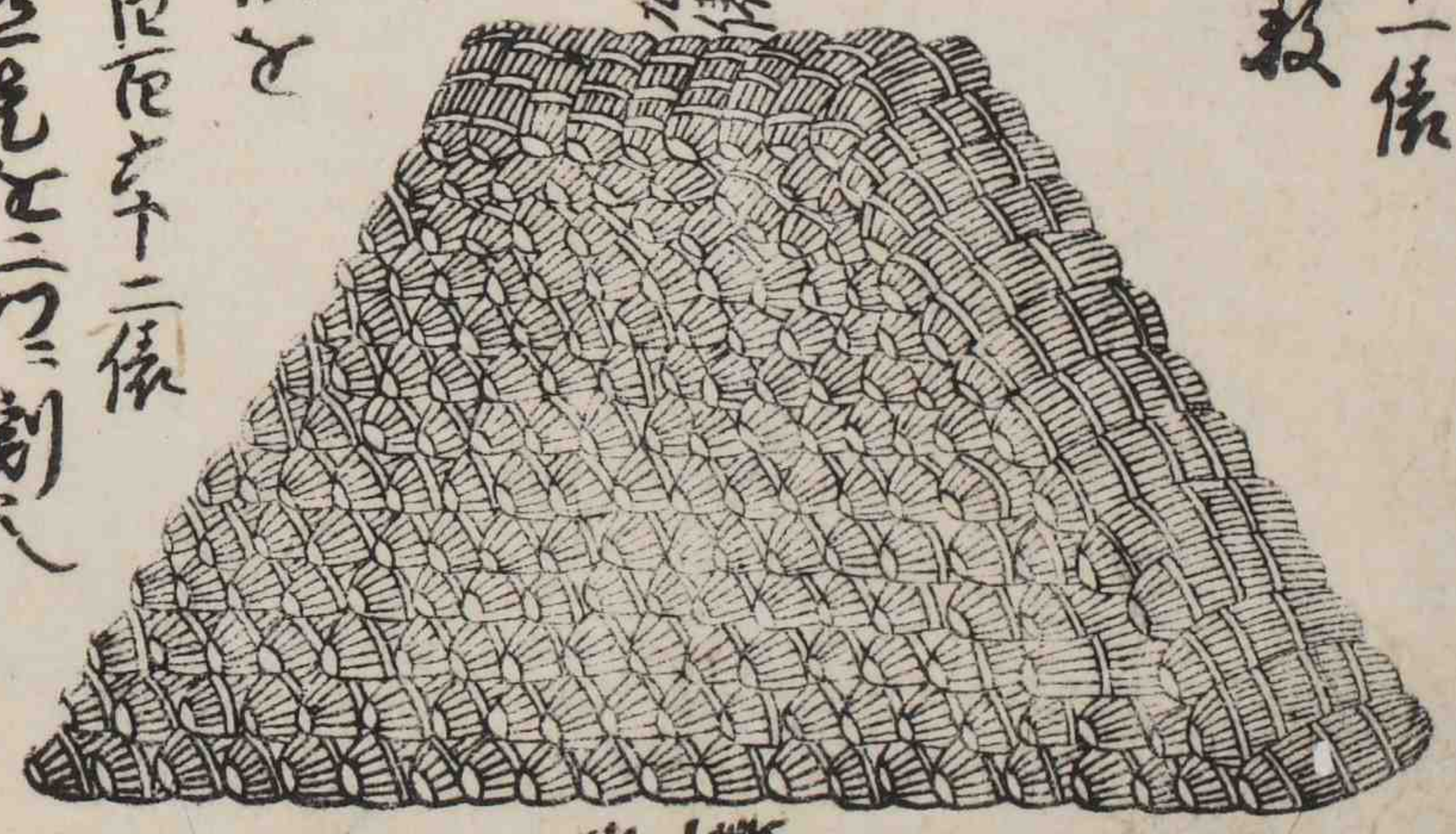
上のとあり九係とけ換

何種そと向

石九十八係と云



右ハ下女二係と  
七係とこれハ石六十  
二係とあま又上九係八係と  
これハ七十二係とあまと石六十係  
の四て引ハ砂三石九十係とあまと二つ割く



石一連

④ 三系とりれ一毎

系の度也三系とり

株と相懸はれり今

書曰 拾合術とい

ひて係ととるとい

名付りけハ同五方

まより別株の地り

後次水記ス

⑤ 九合の株 四寸八分一厘七

と知ハ一株のすの

は寸九分と再自

て百七寸六分四厘と

第九 米賣賣 并 係まり

△ 米にけ三斗二合と米をぬ付三斗二合つての

賣りいりて伐根何種と向 派十三合と云

たハ米とさうと三斗二合とこれハ代米と云

△ 派十三合と云と云と三斗二合つての賣りいりて

代米何種と向 米にけ三斗二合と云とい

たハ米とさうと三斗二合とこれハ代米と云

△ 米にけ三斗二合と云と云と三斗二合つての賣りいりて

伐根何種と向 派十三合と云と云と三斗二合つての賣りいりて

たハ米とさうと三斗二合とこれハ代米と云

△ 派十三合と云と云と三斗二合つての賣りいりて

伐根何種と向 派十三合と云と云と三斗二合つての賣りいりて